

水草研究会第16回全国集会報告

水草研究会の第16回全国集会は、1994年8月6日(土)～7日(日)の2日間、北海道釧路市の北海道教育大学釧路校を会場に行われた。参加者は計45名で、北海道の東の果てという条件にもかかわらず、南は佐賀県から北は地元北海道まで全国各地から参加があった。

8月6日は、研究発表会、総会、懇親会が行われた。研究発表は計12題で、下記の題目にみられるように狭義の水草に関するだけでなく、幅の広い内容であった。

1. 大滝末男(水草研究家)・外山雅寛(江別市立江別小学校)：日本におけるヒンジモの分布
2. A. S. SIDIK・S. A. SAMSON(ムラワルマン大学・水産)・安原健允(日本大学・商)：サマリダ(カリマンタン, インドネシア)の水草と環境
3. 浜島繁隆(高蔵高校)：塚の杣池(名古屋市名東区)の植生10年の動態
4. 後藤直和：霞ヶ浦の水生植物の現状と過去
5. 村山恵子(新潟大学・教育)・福原晴夫(新潟大学・教育)・関谷国男(新潟大学・理)：アオウキクサ類のプロトプラスト作製による染色体観察と新潟県における分布
6. 丸井英幹(環境設計(株))：霞ヶ浦における水生植物相の変化
7. 高野温子(神戸大学・自然科学研究科)・角野康郎(神戸大学・理・生物)：日本産ヒシ属は何種あるか
8. 尾崎富衛(オニバス育成会)・石田文明・清水重蔵(豊栄市職員)：福島潟におけるオニバスの栽培(保護増殖事業)
9. 国井秀伸(島根大学・汽水研)：ジュンサイの浮葉と地下茎の動態
10. 木村保夫・国井秀伸(島根大学・理・生物)：バイカモ属の酵素多型と形態変異
11. 桜井善雄(応用生態学研究所)・上野直也(山梨県)・苧木新一郎(日本理水設計(株))：千曲川水系におけるネコヤナギの分布特性
12. 神田房行(北海道教育大・釧路・生物)：春採湖におけるクラドフォラの発生状況と水質との関係